

- 平洋岸で観測された海風について, 東北地理, 43, 181~187.
- 昆 幸雄, 1984: “やませ” について, 昭和 58 年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告, 天気, 31, 165-170.
- 工藤泰子, 1981: ヤマセの立体構造とそれに及ぼす山地の影響, 東北地理, 33, 204-211.
- , 1984: 典型的なヤマセ時のオホーツク海気団の特性—1981年 6月18日~21日の事例解析—, 天気, 31, 411-419.
- 松本 淳・宇田川満・早福正孝・伊藤政志・朝来野国彦, 1988: 南関東における夏季の海陸風系と光化学大気汚染の予測, 東京都環境科学研究所年報, 11-16.
- 南 利幸・福岡義隆・高橋日出男, 1990: 広島湾における海陸風と島嶼部の風系, 昭和63年度・平成元年度文部省科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書「海陸風の構造と空中花粉の動態への影響に関する研究」, 11-26.
- Ninomiya, K. and Mizuno, H., 1985: Anomalously cold spell in summer over North-eastern Japan caused by northeasterly wind from polar maritime airmass. Part 2. Structure of the north-easterly flow from polar maritime airmass. *J. Met. Soc. Japan*, 63, 859-871.
- 小鹿洋子, 1974: ヤマセ吹走時における青森県の気温分布, 東北地理, 26, 45-49.
- Shitara, H., 1952: On the temperature distribution of a coastal plain - In the case of the Plain of Sanbongi, Aomori Prefecture-. *Sci. Rep. Tohoku Univ. 7th. Ser. (Geogr.)*, 1, 43-55.
- 設楽 寛, 1957: 青森県三本木平野における夏季気温の不連続分布について, 東北地理, 9, 67-71.
- Shitara, H., 1963: Meso-climate divide seen from the discontinuity of the weather. *Sci. Rep. Tohoku Univ. 7th. Ser. (Geogr.)*, 12, 21-34.
- , 1964: Sea-breeze air-mass boundary in a coastal plain as an example of meso-climatic divide. *Sci. Rep. Tohoku Univ. 7th. Ser. (Geogr.)*, 13, 37-50.
- 浦野 明・中村晃三・浅井富雄, 1990: やませ時における海上の下層雲の形成と赤外放射の効果, 海洋, 22, 417-421.

「第7回北方圏国際シンポジウム」開催のお知らせ

主催: 紋別市・北方圏センター・オホーツク海・氷海研究グループ

後援: 日本海洋学会 海洋気象学会 日本雪氷学会
日本気象学会

期間: 1992年2月2日(日)~4日(火)

場所: 紋別市市民会館 紋別市文化会館

主旨: 世界各国から海洋, 気象, 水産, 生物, 工学, リモートセンシングなどの学際的分野の研究者, 技術者を集めて, オホーツク海や氷海, 寒冷海域での諸問題について論議するものです。

主題 1 氷海の物理環境と海洋生物

2 オホーツク海と親潮

3 オホーツク海沿岸の水産

4 工学・リモートセンシング・測器

5 大気-海水-海洋相互作用

ファースト・サキュラーの請求と問い合わせは, 下記宛をお願いします。

〒094 紋別市幸町2丁目紋別市役所企画調整課

オホーツク海・氷海研究グループ事務局

電話: 01582-4-2111 内線: 221

FAX: 01582-3-1833